

## 第 17 回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

- |   |     |                          |                                 |
|---|-----|--------------------------|---------------------------------|
| 1 | 日時  | 平成28年12月14日(水) 午後2時～午後4時 |                                 |
| 2 | 場所  | 蒲郡市役所 本館 303会議室          |                                 |
| 3 | 出席者 | 委員                       | 愛知工科大学自動車短期大学自動車工業学科教授 橋本孝明     |
|   |     | 委員                       | 名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授 松本幸正 (欠席) |
|   |     | 委員                       | 愛知運輸支局 杉本忠久                     |
|   |     | 委員                       | 愛知県交通対策課 桑原良隆                   |
|   |     |                          | (代理 瀬古忠義)                       |
|   |     | 委員                       | 総代連合会会長 酒井雅幸                    |
|   |     | 委員                       | 総代連合会副会長 岩瀬雅史                   |
|   |     | 委員                       | 総代連合会副会長 小林俊雄                   |
|   |     | 委員                       | 形原地区公共交通協議会 壁谷権一郎               |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市身体障害者福祉協会 金沢孝一               |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市老人クラブ連合会 市川紀子 (欠席)           |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市社会福祉協議会 金原久雄                 |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市小中学校PTA連絡協議会 小林暁子            |
|   |     |                          | (代理 鈴木明美)                       |
|   |     | 委員                       | 蒲郡商工会議所 小池高弘                    |
|   |     |                          | (代理 佐藤康彦)                       |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市観光協会 杉山和弘                    |
|   |     |                          | (代理 鈴木和範)                       |
|   |     | 委員                       | 名鉄バス東部株式会社 藤田信彰                 |
|   |     | 委員                       | 豊鉄タクシー株式会社 小川健司                 |
|   |     | 委員                       | 株式会社かね一自動車 石田悦司                 |
|   |     | 委員                       | 名古屋鉄道株式会社 木本正則                  |
|   |     | 委員                       | 公益社団法人愛知県バス協会 古田寛               |
|   |     | 委員                       | 愛知県タクシー協会 山田透                   |
|   |     | 委員                       | 愛知県交通運輸産業労働組合協議会 白井淳            |
|   |     | 委員                       | 愛知県蒲郡警察署 肥田尚幸                   |
|   |     | 委員                       | 東三河建設事務所 柴田厚                    |
|   |     |                          | (代理 有賀新祐)                       |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市長 稲葉正吉                       |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市総務部長 壁谷勇司                    |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市企画部長 大原義文                    |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市市民福祉部長 鈴木富次                  |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市建設部長 大場昭佳                    |
|   |     | 委員                       | 蒲郡市産業環境部長 吉見和也                  |

委員	蒲郡市都市開発部長	鈴木成人
事務局	蒲郡市交通防犯課長	竹内正樹
	蒲郡市交通防犯課長補佐	竹下暁
	蒲郡市交通防犯課主事	足立昌平
	蒲郡市交通防犯課主事	鎌田司郎

連携計画推進事業受託事業者 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 1名

4 傍聴人 7人

5 議題

(1) あいさつ

6 協議事項

(1) 形原地区支線バスルート変更等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】

(2) 地域公共交通確保維持改善事業補助金にかかる自己評価について・・・・・・・・・・【資料2】

7 報告事項

(1) 形原地区支線バス利用状況について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3】

(2) 支線バス車両広告掲載要綱について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料4】

(3) 名鉄西尾・蒲郡線利用状況等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料5】

8 その他

(1) 夏休み小学生50円バスの実施結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料6】

9 議事内容

(1) 開会

- ・ 開始時点で出席委員が28名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び連携計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長、稲葉正吉より、形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」は、地域の皆様の多大なご協力もあり、順調に利用者も増加していると聞いている。ルート変更で、より利便性、安全運行に繋がると考えている。引き続き、地域公共交通会議委員、住民、交通事業者と関係して進めたい。名鉄西尾・蒲郡線の事業延長について基本合意した5年間の1年目である。市民まるごと赤い電車応援団として、一丸となって利用促進活動を実施し、徐々にではあるが利用者増にある。これまでの利用促進活動に加え、都市部からの誘客を主眼においた利用促進計画を策定し、市民の皆様、西尾市、愛知県等と協力して利用促進を進めたい。委員の皆様方には忌憚のないご意見とご協力を賜りたいとのあいさつがあった。

### (3) 協議事項

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

#### ア 形原地区支線バスルート変更等について

- ・ 事務局より資料1に基づく説明、生活交通確保維持改善計画の変更申請等対応の事務局への一任の提案が行われ、全会一致で承認された。

[質 疑]

(委 員)

- ・ ルート変更について、運転手の立場からすると、今までのルートでは狭い場所を通過していた。このバスはバックができない、Uターンするしかないためやむをえず今のルートを通過しており、すれ違いにも苦労していた。
- ・ 今回の変更により、幹線へのバス停の移設があり、整形外科の敷地内でUターンでき安全に運行できる。
- ・ 当初、利用を期待したが一色、宝喜神社南の利用が非常に少なかった。理由として考えられるのが幹線より左西側の利用者は道路の横断もせざるを得なかったこともあり、高齢者が利用し辛かったことがあるのではないかと。停留所が幹線へ移動することで利用しやすくなる。整形外科の休診日は木曜日で、バスは火木土の運行であるが、整形外科としては木曜日の運行で乗り入れることも問題ないと了解を得ている。
- ・ 土曜日の診療時間が14時までとなっており、ダイヤ的に診療が遅れても利用していただける。
- ・ 利用者増と運行の安全性向上を期待している。

(委 員)

- ・ 変更案について、それぞれの立場から確認をいただいておりますかと思う。
- ・ 事業計画の変更、補助金の変更もある。変更等する場合、事務手続きは余裕をもって対応いただきたい。

#### イ 地域公共交通確保維持改善事業補助金にかかる自己評価について

- ・ 事務局より資料2に基づく説明が行われ、指摘部分について事務局にて修正を行い、修正内容については会長に一任するとして承認された。

[質 疑]

(委 員)

- ・ 事業評価について、まず資料2のA4横の資料は、国土交通省本省に提出するもの。国の補助を利用している以上、必要となる。
- ・ 中部様式については、中部運輸局独自のもの。地域公共交通網形成計画の自己評価を必ずしていただくような考えで作られている。活用して頂きながら網形成計画の促進をお願いしたい。
- ・ 中部様式の2枚目にネットワークイメージがある。全体のネットワークと形原地区の図が取り出されているが、網形成計画84頁のこちらの資料の方が全体の公共交通ネットワークの考え方はわかりやすいのではないかと。

- ・ 5頁について幹線系統の影響、利用促進への寄与についてだが、その後の資料にあるが駅の利用者については、三河鹿島駅・形原駅の利用者は減少傾向にあるので、今後どう取り組んでいくかを考慮いただきたい。
  - ・ 全体についてはうまくまとめていただいている。
  - ・ 4頁の目標の取組み内容については、もう少し広げてもよい。
- (事務局)
- ・ 指摘いただいた部分について、事務局にて検討、追記させていただく。

#### (4) 報告事項

##### ア 形原地区支線バス利用状況について

- ・ 事務局より資料3に基づいて報告が行われた。

[質 疑]

(委 員)

- ・ Aコープの利用が増えている。しあわせ会館は、乗車が減り、降車が増えている。前後する停留所であり、例えばしあわせ会館で降りて、次のAコープまで移動し、買い物をして乗車しているのではないか。こういった交通流の分析もできる。
- ・ 他でも同様の分析があれば、このような利用の仕方があるということを紹介するような、利用促進も考えていけるのではないか。
- ・ 公民館の利用が減少してきているが、今後どう対応していくのか。

(委 員)

- ・ 協議会の役員会にて、乗車、降車の差について指摘され、分析していこうという話をした。
- ・ 1日6便、週3日の運行状況なので、希望される時間にバスがないこともある。そのため、帰りは、路線バスやタクシーの利用もあると聞いている。
- ・ 一番良いのは、便数を増やしもっときめ細かく巡回できれば、乗降のバランスがとれるのではないか。また、行きは坂道のためバスを利用し、帰りは歩くといった方も聞いている。
- ・ これまでの高齢男性の利用が少ないことについて、男性も増えてきたと感じているので、改善の方向にあるのではないか。
- ・ 市長との懇談会で、便数を増やしてほしい、決して廃止しないようにといった意見が出されていた。免許証の返納者の利用も増えていると思う。

(委 員)

- ・ 運行日の曜日の変更について、新たな選択はないのか。

(事務局)

- ・ 火木土の運行日は形原地区公共交通協議会で協議し決定した。Aコープ、その他病院の診療日で設定している。これまでこの曜日で運行し安定して増加していることから、ベースは変えずにこのまま運行することとさせていただいた。

イ 支線バス車両広告掲載要綱について

- ・ 事務局より資料4に基づいて報告が行われた。  
〔質 疑〕
  - ・ 意見なし

ウ 名鉄西尾・蒲郡線利用状況等について

- ・ 事務局より資料5に基づいて報告が行われた。  
〔質 疑〕
  - ・ 意見なし

(5) その他

ア 夏休み小学生50円バスの実施結果について

(委 員)

- ・ 普段は運転手をしている。
- ・ 今年度は、1乗車でスタンプが1つもらえ、3つ集めて応募すると抽選で記念品が当たるというイベントがあった。
- ・ 西浦温泉に来ていた観光客が、その往復のバス利用で2つのスタンプを押せたが、他の観光場所に往復すると3つ集めることができると紹介し、観光利用の利用促進の貢献ができた。
- ・ 子供連れの観光客の方からありがたかったとの声をいただいた。

イ その他

(事務局)

- ・ 次回の地域公共交通会議は平成29年3月23日午後2時30分から予定との連絡を行い会議は終了した。